

# ユーカーリ 2020

学校通信  
R2. 7. 28  
No. 32  
松崎小学校

## 決まりを守る 社会性の醸成

修学旅行の説明会するとき、担任時代も校長の今も保護者の方にいつも下のようなお話をします。

『お小遣いは〇〇〇〇円です。決してそれ以上に持たせないでください。「落としたりかわいそう。」という声がよく聞かれますが、そういう事態にならないように指導しますし※、もし不幸にして落とした場合、担任があげるわけにはいきませんが貸すことはできます。「欲しいものが買えなかったらかわいそう。」という声も聞かれますが、決められた金額の中で使い方をよく考えることも大切な勉強です。ほしいがままに買い物をする経験は望ましいものではありません。(※担任・校長として15回ほど修学旅行に行きましたが、落とした事例は一度もありません。)

「お小遣いは〇〇〇〇円」は決まりです。親が決まりを破るお手本には絶対にならないでください。親が、「**決まりは自分の都合で守らなくてもいい**」ということを教えることになります。

また「**決まりを自分に都合よく拡大解釈する**」ことも同様です。以前、宿泊学習の持ち物の一つに着替え用のTシャツがありました。そのTシャツの条件が「無地、もしくはワンポイント」でした。ある保護者は、説明会の席上でワンポイントならかまいませんねと念を押した上で、当日、胸一杯に大きく有名メーカーのロゴが入ったTシャツも持たせていました。しかし、その子は、最後までそのTシャツを着ませんでした。小学5年生が「**決まりを、自分に都合よく拡大解釈してはいけません。**」と判断したようです。』

子どもたちが成長して社会に出たとき、どんな集団、社会にも「決まり」はあります。小学校では、学習や仲間づくりだけではなく、**社会性の醸成**も大切にしています。もちろん「決まり」の中には納得できないものもあるでしょう。「決まり」そのものを見直すことは大切ですが、集団・社会の中で、「決まり」を自分の都合・判断で守らないのでは社会の一員としては務まりません。

## わくわくする教室掲示 ～図工の作品～



2年 『わくわくするTシャツ』



3年 『水たまりに映ったぼく・わたし』